

初心

県民に夢と希望と活力を

栃木県知事 福田富一

2010年新春号

平成22年1月発行
年2回刊
題字/福田富一 書

〈発行所〉
福田富一
暮しと政治研究所
〒321-0102
宇都宮市江曾島町98番地
TEL 028(645)5100
http://www.tomikazu.com



虎となしてこれを射る

知事6年目を迎えて

新年明けましておめでとう
ございます。皆様ご家族の益々
のご繁栄をお祈り申し上げま
すとともに、本年も旧に倍す
るご指導ご支援を宜しくお願
い致します。

新春の9日、国立競技場に
全国高校サッカー選手権大会
準決勝の、矢板中央高校の応
援に行ってきた。本県として
24年ぶりの準決勝進出。優勝
候補をつぎつぎとなぎ倒して
の快進撃だった。結果は2対
0と山梨学院高校に敗退はし
たものの、見事な戦いぶりに
胸が熱くなった。その対戦相
手は初出場で初優勝を飾った。
東京オリンピックスタジアム
は、テレビで見慣れてはいた
ものの私自身初めての良い経
験となった。矢板中央高校イ
レブンの活躍のおかげである。
心から健闘を称えたい。

プロスポーツの世界では、
バスケットボールの栃木ブレ
ックスや日光アイスパックス
が今シーズンを戦っている。
J2に昇格して2年目となる
栃木SCは、選手強化もされ
て今年こそ上位進出を狙う。
自転車の宇都宮ブリッツエン
は初シーズンながら総合3位
の好成績を収め、優勝を窺う。
いずれもシーズン開始に向け
てスタートした。

明るい話題が少ない中、日
本一のチームが誕生した際に
は、宇都宮市内をパレードし
たいと考えている。さて、ど

のチームが一番乗りするだろ
うか？今から楽しみである。
芸能界では、U字工事が栃
木弁丸出で大活躍している。
実力県でありながら無名県に
甘んずる中、栃木のブランド
づくりの先頭に立ってしてく
れている。福田、益子の両君には、
何度かお会いして言葉を交わ
しているが、謙虚で素直な好
青年である。お二人の活躍の
おかげで、私も何度かビデオ
レターでテレビに出演させて
もらった。今後の更なる活躍
を期待したい。

シンガーソングライターの
えりのあさんも、『とちぎの
うめえもん』という歌で全国
に栃木をPRしてくれている。
船村徹先生には、私の選挙
公約の1つである、田園風景
100選(現在募集中)の応
援団を担って頂いている。
U字工事、えりのあさん、
船村先生には、とちぎ未来大
使「もお願いしている。特に
船村先生には、この季節の郷
土料理『しもつかれ普及官』
として、しもつかれの紹介を
東京を中心にお願している。
中国の史記に「虎となして
これを射る」がある。『何事
も信念を持って行えばどんな
難事でも成し遂げることがで
きる』という意味である。私
もこの精神で邁進致します。
多くの皆様に助けられ、平
成22年がスタートしました。
明るい話題を少しでも県民の
皆様にお伝えできる様精一杯
取組んで参ります。

ちよつと息

大田市場でトップセールス



11月27日早朝、福田知事
はJA全農栃木運営委員会
の伊沢茂会長らと共に東京
都中央卸売市場大田市場で
イチゴのトップセールスを
行った。知事はイチゴの競
りが始まる前の競り台からあ
いさつし「大きくて甘いと
ちよつとめはイチゴの芸術品
多くの消費者にご提供を」
とアピールした。

「いちご情報館」オープン

日本一の生産量を誇る県
産イチゴについて理解を深
めてもらおうと、県は12月
25日、真岡市久下田の「道
の駅にのみや」に「いちご
情報館」をオープンした。

記念式典で福田知事は
「ここではイチゴの歴史や
品種、栽培方法を楽しく学
ぶことができる。本県は今
年で41年連続の生産量日本
一。多くの人に本県イチゴ
の素晴らしさをもっと知っ
てもらいたい」とあいさつ

財政基盤の確立へ

安心して暮らせる元気な栃木を

福田富一知事は10月28日、県財政健全化の道筋を定めた「とちぎ未来開拓プログラム」を決定し、発表した。1409事業を見直し、本年度から4年間の集中改革期間を経て384億円の財源不足解消を目指す。

5月に発表した試案では1419事業が見直し対象となったが、市町や関係団体からの要望などを受けて、医療、福祉、教育などの分野を中心に20事業を再見直した。

成案では、財政健全化の取り組みによる「財政基盤

の確立」とともに、「県民満足度の高い県政の実現」を掲げ、具体的な県民ニーズへの対応として、▽次の時代を切りひらく人づくり▽安全・安心な地域づくり▽活力あふれる産業の振興、など5項目を明記した。

福田知事は会見で「プログラムを着実に実行する。(見直しを掲げた)1409事業はその通りやる。2013年度以降、収支の均衡した予算を組む。見直したプログラムへの県民理解を得る努力は今日からスタートする」と決意を語った。

前原国交相との会談を終え記者会見する6知事

福田知事は「大臣と直接会ったのは成果があった」と会談を評価



(左から) 福田富一栃木県知事、森田健作千葉県知事、石原慎太郎東京都知事、上田清司埼玉県知事、橋本昌茨城県知事、大沢正明群馬県知事=27日午後、前橋市内のホテル

福田富一知事と県民が意見交換する「とちぎ元気フォーラム」が、10月31日、大田原市の那須与一伝承館で約160人が出席して開かれ、本県での新型インフルエンザワクチン優先接種の大まかなスケジュールについて、国がワクチンを出荷する11月6日以降になる見通しを示した。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていただきました。

とちぎのふるさと田園風景百選

―百年後にも誇れる田園風景をめざして―

とちぎのふるさと田園風景百選実行委員会(6月発足、会長・福田富一知事)は9月14日から、「とちぎのふるさと田園風景百選」の候補となる四季折々の美しい農村の景観や、伝統行事の模様を取めた写真の募集をしている。10年8月31日まで、県内各市町役場の農政担当課で応募を受け付け、11年1月の認定を目指している。

この事業は、福田知事が昨年の知事選で掲げた公約の一つで、豊かな田園風景の継承と地域活性化を目的に「百年後にも誇れる田園風景をめざして」をテーマにした、本年度からの新規事業。自然環境と一体になった農業生産の風景(棚田、水車、農業作業)や農村生活(集落、里山、屋敷林)、伝統文化、地域交流活動の風景を募集している。

お薦め情報募集中



等身大パネルで観光PR

エンジ色の法被姿と宮染め浴衣の2種類

宇都宮市の伝統工芸品「宮染め」の浴衣姿ではほ笑む福田富一知事の等身大パネルが7月17日、県庁1階ロビーでお披露目された。

パネルは知事の分身としてロビーで来庁者を出迎えるほか、首都圏での観光イベントに出張し、本県をPRする。知事が「やすらぎの栃木路」と書かれたエンジ色の法被を

着たパネルと、宮染め浴衣の着流しパネルの2種類を作成。浴衣のパネルは夏に、法被のパネルは夏以外の時期に使う。浴衣は、授業で「宮染め」を学んでいる宇都宮短大付属高生活教養科の3年生6人が、宇都宮市内を流れる田川の清流をイメージして制作した。知事は約1週間前の撮影時、立ち会った生徒らに「真心がこもっているの着やすい、ありがとう」と感謝し、カメラの前でポーズをとっていた。

前原国交相と初の意見交換

及び 関東地方知事会議 出席

前原誠司国土交通相が中止を表明した八ッ場ダム(群馬県)について、福田知事は10月27日、前橋市内で開かれた前原国交相と関係6都県の知事との意見交換会に出席した。利水・治水の両面でダムの必要性を再検証した上で、ダムに頼らない代替案を示すと表明した前原国交相に対し福田知事は、「コンクリートから人へ」の理念は賛同する」と政府の方針に一定の理解を示した上で、「行政を預かる者にとって安全・安心、

人命優先は大きな柱。ダム建設を中止する場合は一刻も早く治水の代替案を示してもらいたい」と求めた。

また同日、関東地方知事会議(会長・松沢成文神奈川県知事)が、福田知事ははじめ10都県の知事らが出席して開かれ、政府が10年度から実施予定の子どもの手当の財源について、松沢会長は「地方負担は何があっても認められない」と問題提起し、各知事らが賛成して地方負担に反対する緊急アピールを出すことを決めた。

新型インフルワクチン優先接種予定示す

とちぎ元気フォーラム in 大田原

福田富一知事と県民が意見交換する「とちぎ元気フォーラム」が、10月31日、大田原市の那須与一伝承館で約160人が出席して開かれ、本県での新型インフルエンザワクチン優先接種の大まかなスケジュールについて、国がワクチンを出荷する11月6日以降になる見通しを示した。

県民総ぐるみで、「エコとちぎ」に

とちぎ環境県民大会

県は11月24日、環境問題への取り組みを進めることで県のイメージ向上や関連産業の振興を狙う「とちぎ環境立県戦略」を発表した。10年後に目指す県の姿を「エコとちぎ」と名付け、「太陽光発電設備の導入量を現在の20倍に拡大する」など、具体的な数値目標も示した。「エコとちぎ」のイメージは、「自然と共生しながら環境やエネルギー技術を活用し、持続的に発展する社会」。

福田知事は「私自信が先頭に立ち、環境をキーワードとした元氣な栃木づくりを目指す」と述べた。

12月5日、初めての試みとなる「とちぎ環境県民大会」が宇都宮市元今泉のマロニエプラザで開かれた。大会では「レジ袋有料化」の協定に参加する事業者、消費者団体、市町の4者による協定締結式(協定参加は11業者・59店舗)や、一般から公募して作り上げた「エコとちぎ県民宣言」の発表、優れた環境保全技術などを振興するため、県が本年度から始めた「マロニエECO事業所表彰」の表彰式なども行われた。

福田知事は「県民総ぐるみで地球と人にやさしい「エコとちぎ」づくりに取り組むことを願う」と呼び掛けた。



初の「とちぎ環境県民大会」で挨拶する福田知事



11月26日、立命館大学での全国知事リレー講座で「とちぎを有名有力県」と題して、レモン牛乳を紹介しながら本県の魅力を語る知事。

東奔西走の日々

- ◇7月11日 全国高校野球栃木大会開会式／「さわやかで闘志あふれるプレーを」と激励。
- ◇7月15日 三重県で全国知事会議／「行政サービスを安定供給するには安定財源が必要」と訴える。
- ◇7月23日 宇都宮で高校生と環境フォーラム／「速やかにプラゴミ回収の統一を図るよう指示する」と約束。
- ◇8月22日 とちぎ元氣フォーラム in 矢板／「高齢者の足確保のため地域公共交通網整備を自治体と連携して進める」と知事。
- ◇9月12日 米インディアナ州知事来県・姉妹提携10周年記念植樹／米でのフェア出店要請に「栃木を最大限PRできるブースを作りたい」と出店に意欲を示す。
- ◇9月15日 「交通安全の火」分火式／「県民一人一人の自覚と実践を」
- ◇9月30日 全国障害者スポーツ大会
- ◇10月9日 東京で全国知事会議／「国と地方の協議の場、早期に始めてほしい」と要望。
- ◇10月23日 とちぎ元氣フォーラム in 独協医大／子ども医療費補助金の所得制限断念に言及。
- ◇10月30日 都内で「とちぎ企業立地セミナー」／本県の立地環境の良さや優遇制度などをPR。
- ◇11月25日 政府主催の全国知事会議／「新政権での地方の役割が見えてきて有意義な会議だった」と知事。
- ◇11月26日 立命館大学で「第4期全国知事リレー講座」／「人や環境に優しい元氣な栃木にしたい」と講演。(上記写真)
- ◇12月11日 宇都宮市中心街で特別パトロール／「目に見える活動が犯罪防止につながる」と激励。
- ◇12月13日 天皇家下御即位20年「奉祝県民の集い」で祝辞を述べる。

子育て応援 県境を越えて

日光で北関東磐越5県知事会議

栃木、福島、茨城、群馬、新潟の5県は7月28日、日光市の日光田母沢御用邸記念公園で「第6回北関東磐越5県知事会議」を開いた。

子育て家庭支援を目的に発行する優待カード事業は本県と茨城、群馬、福島の4県が連携して11月1日から、障害者などの駐車スペースを確保するための利用証交付事業の連携は本県と、群馬、福島の3県に福島県の呼び掛けで山形県が加わり8月3日から行うことが報告された。駐車スペース事業の広域連携実施は全国初。両事業の広域連携は、08年7月に群馬県で行われた5県知事会議で福田富一知事が提案し、各県担当者が調整を進めていた。

観光面の連携については、福田知事が「産業観光にとどまらず、人を呼び込む仕掛けが必要」とまとめ、5県の事務レベルで国内外からの誘客対策を検討することになった。



(左から)佐藤雄平福島県知事、橋本昌茨城県知事、福田富一栃木県知事、泉田裕彦新潟県知事、大沢正明群馬県知事

「両県の友好関係は財産」

仏で交流20周年記念行事出席

仏ヴェルクリューズ県と本県との友好交流20周年を祝う記念行事への出席のため11月7日～14日の日程で現地を訪問中の福田富一知事は9日、



オー議員(左)とガッチリ握手する福田知事

同県アビニヨン市内で開かれた記念行事に青木克明県議会議長ら120人と共に出席。挨拶で知事は「20年にわたり築き上げられた両県の友好関係は、掛け替えのない財産である」と述べ、友好関係を次世代へ引き継いでいくことを表明した。ヴェルクリューズ県議会のクロード・オー議長は「今後、経済や観光などの分野でさらなる交流、協力を促進していく」と挨拶。式典の前には共同記者会見が行われた。

福田知事らは13日まで滞在し、現地の旅行者への本県観光PR、パリ近郊の航空関連企業などを訪問し、観光や経済分野での交流促進を図る。

東海林のり子さんをお迎えして

文化講演会

10月7日、恒例の文化講演会が宇都宮グランドホテルを会場に開催され、あいにくの空模様の中500人余の方々が出席された。

講師の東海林のり子さんは演台に立つとはじめに「現場の東海林です」と挨拶し会場の笑いを誘った。人生を元気に楽しく過ごすためには「世間体を気にしない」「何事もイェスと言うこと」「過去を振り返らない」など。健康になるためには「笑う事が大切」笑わなくても口角を上げれば笑みを浮かべた状態になるなど、ご自身やご主人とのエピソードなどを交えながらおもしろおかしくお話しされたが、すべてが合点が行く内容で会場は終始笑いに包まれた。『絶対大丈夫、うまくいく』とプラス思考で物事をとらえ、それを実行されている東海林さんのお話により、お集まりいただいた皆様も元気に、そして笑顔が耐えない楽しい文化講演会となった。

2期目就任後初、2年ぶりとなる『知事と語る会』が11月25日、アピアを会場に100名が参加して開催された。知事は初めに、初心(09年新春号・盛夏号)の記事や、講演をまとめた冊子をもとに直近1年の県政全般を報告。2期目は遥かに責任が重く、議会や職員と力を合わせ難局を乗り越えたいと強い意志を語った。次に司会者から、フランス出張、政権交代、ダム廃止問題などについて質問があり、知事の思いや考えを述べた。その後も県民の健康問題や県内の文化遺産、LRTなどについての質問が相次ぎ、知事は丁寧な回答を返した。参加者からは、分かりづらい事柄がよく理解出来た、などの感想が寄せられた。



0名が参加して開催された。知事は初めに、初心(09年新春号・盛夏号)の記事や、講演をまとめた冊子をもとに直近1年の県政全般を報告。2期目は遥かに責任が重く、議会や職員と力を合わせ難局を乗り越えたいと強い意志を語った。次に司会者から、フランス出張、政権交代、ダム廃止問題などについて質問があり、知事の思いや考えを述べた。その後も県民の健康問題や県内の文化遺産、LRTなどについての質問が相次ぎ、知事は丁寧な回答を返した。参加者からは、分かりづらい事柄がよく理解出来た、などの感想が寄せられた。

1000名の参加者を迎えて

もちつき大会

12月6日(日)、前日まで降り続いた雨がウソのような好天のもと、今宮公園で恒例の「もちつき大会」が、1000名の参加者を迎えて開催された。当日は、あんこ、きな粉、納豆、おろしなどを塗したつきたての餅、けんちん汁、しぼりたて牛乳、綿あめの他、支援者がポップコーンを実演し、振る舞われた。



11時の開始の時刻には、家族づれなどが次から次へと訪ねてこられ、餅がつきあがるごとに長蛇の列ができ、180kg用意されたもち米はまたたく間になくなってしまう。前日早朝から、地元陽光地区後援会の皆様が準備して下さり、地域一体で取り組んだ一年締めくくりの行事も、大盛況のうちに終了することができた。

前日早朝から、地元陽光地区後援会の皆様が準備して下さり、地域一体で取り組んだ一年締めくくりの行事も、大盛況のうちに終了することができた。

2010年 半年間の行事予定

ゆりの会新年会 日時: 2月21日(日) AM 11:00~ 場所: ホテル東日本宇都宮 会費: 5000円 (女性のみ)

※ 今年10回目の節目の開催になります。楽しいイベントを用意して、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

福田富一後援会総連合会(会長 福田宏一) 総会および新年会 日時: 2月26日(金) PM 5:30~ 場所: 宇都宮グランドホテル 会費: 5000円

※ ご参加頂ける方は江曾島町の事務所までご連絡下さい。

ハイキング 日時: 5月頃 場所: 未定 主催: ハイキング愛好会

※ 会員の皆様には、日時・場所等決まり次第ご連絡致します。

『福田家の茶の間』

夫が替るとは不思議である。やり残したことがあっても、新年を迎えると全てがリセットされ新たなスタートになる。昨年も夫と男体山に登った(写真)。だが今回は迷った。春から腰痛と頑固な肩こりに悩まされ、夏には心身ともに疲れを感じていた。男体山登山を始めて8年目。



夫は「心が疲れた時は体を動かす。良い本を読み、音楽や絵画、映画を鑑賞し、運動する」と言い、9月から一緒に朝6時半からのラジオ体操を始めた。最初は億劫だったが、毎日続けていると体も軽くなり気分も晴れ晴れとしてきた。そんな時の『東海林のり子さんの講演』は、「元気に明るく」「くよくよしない」「何事も前向きに」など、普段から二人で話していた内容で思わず頷いて笑ってしまった。

「無理だったら途中で引き返してくれば良い」との夫の言葉で決意した。当日は二男がペースメーカーになってくれ、思ったよりも体が軽く順調に登れた。心地よい風、澄み切った青空、下界の喧騒を忘れて、爽やかな達成感を味わった。私が鬱々としていたのと同じ頃、夫の疲れも見えて取れた。

現状になにかと不安を感じるが、「先のこと」を心配しても仕方がない。今出来ることを一生懸命やるだけだ」と夫。二人の疲れも改善され、気持ち新たに新年を迎えた。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。

“ゆりの会”への入会のご案内

福田富一知事を支援する女性の会を“ゆりの会”と称します。

“ゆりの会”を通して、趣味、スポーツ、勉強会など、創造的サークル活動を行い有意義な人生の糧となることをめざします。

多くの皆様の入会をお待ちしております。



ゆりの会のシンボルマーク

編集後記

最近テレビなどを見てみると言葉が軽んじて使われているような気がします。昔から言葉に宿っていると信じられていた不思議な力「言葉(ことだま)」。発した言葉どおりの結果を現す力があるとされてきました。

知事にはぜひ『有言実行』で政策に取組んでもらいたい。

◆福田富一後援会総連合会事務所

宇都宮市馬場通り2-11-12

電話 0228(6333)1111

FAX 0228(6333)1110

◆福田富一暮らしと政治研究所 宇都宮市江曾島町98番地 電話 0228(645)5100 FAX 0228(645)1124